

2020年(令和2年)10月14日(水曜日)

三島駅再開発

住民投票条例制定を

市民団体が「市民の声を真摯に」市長へ直接請求

三島市の市民団体「みんな三島の未来を創る会」は十三日、豊岡武士市長に四千八百五十七人分の署名簿を提出し、JR三島駅南口東街区の再開発事業の是非を問う住民投票条例の制定を直接請求した。豊岡市長は「法令にのっとり民主的に進めたい」と応じた。

二十七日に市議会を招集、自身の意見を付け、条例案を提出する意向を示した。団体は事業を「現行計画を進める」「都市計画決定を一年延期し、市民の意見を採り入れ見直す」の二択での住民投票実施に向けて

八月中旬から一カ月間、署名活動。九月二十三日、五千二百六十八人を市選挙管理委員会に提出した。



豊岡武士市長宛に請求者名簿を手渡す請求代表者ら。三島市役所で

市選管の審査で四千八百五十七人分が有効となり、市長への直接請求に必要な有権者五十分の一(千八百三十一人)を上回った。

請求を受け豊岡市長は、条例案に付ける意見は「請求の中身をよく読み検討する」と述べつつ、事業は「三島の持続的な発展にとって欠かすことはできない」と推進の立場を強調した。

請求者代表の一人、吉岡肇さん(六〇)は取材に「(市長と市議会は)五千人近い市民の声を真摯に受け止めてほしい。事業についてよく知らない人が多い。あらためて声を聞くべきだ」と話した。(渡辺陽太郎)